

にいがた労福協

ライフサポートセンター

No.38 2019年7月15日発行

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2

Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891

E-mail ni-rfk@bz04.plala.or.jp

URL <http://www.niigataken-roufukukyo.com/>

発行責任者 岡 英輔

第40回県労福協定時総会

6月19日(水) ANAクラウンプラザホテル新潟において、県労福協第40回定時総会が開催され、会員団体から113名が参加しました。

総会では、2018年度の事業報告、2019年度事業計画、2019年度収支予算報告を行い、2018年度の決算報告の承認ならびに監査報告の承認、役員改選の承認では、理事18名(新任2名)・監事3名が承認されました。理事承認が行われた後に、第124回理事会を開催し、理事長には牧野茂夫理事が選出されました。

総会は、理事会を代表して牧野理事長から、「この一年安心して暮らせる社会、誰もが排除されることがなく「居場所」や「拠り所」のある社会、「助け合い、支え合い」を理念とする「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」(2020年ビジョン)に基づき、ライフサポート事業を柱に、生活困窮者自立支援事業、よりよいホットライン事業、フードバンクにいがた等との連携や、行政をはじめ、さまざまな団体とのネットワークを強化しつつ生活上の悩みや課題を抱えた人々に対する支援事業を一体となつて進めてきました。本総会では、

「広げてきた事業をどう充実させるのか」「運動体としての労福協をどう築いていくのか」皆さんの知恵を結集し、今後の運動につなげてまいりたい」との挨拶がありました。

その後、報告事項(1)2018年度事業に関する件、(2)2019年度事業計画の報告に関する件、(3)2019年度収支予算の報告に関する件の報告を行い、議案審議(第1号議案)2018年度決算報



告の承認および監査報告の承認に関する件、(第2号議案)役員改選に関する件の提案を行い、議案は、すべて承認されました。

なお、総会において18名の理事、3名の監事が承認され、承認後の理事会において、理事長には、牧野茂夫(連合新潟会長・留任) 副理事長、齋藤敏明(労働金庫理事長・留任)、小野塚豊(こくみん共済coop本部長・留任) 専務理事、岡英輔(県労福協・留任)が選出されました。

総会後に研修会を開催し、「中央労福協2030ビジョンについて」と題して、中央労福協栗岡事務局次長から、中央における審議状況等詳しく説明が行われました。

なお、その後の懇親会では、新潟県溝口副知事をはじめ多くの来賓の皆様、労働団体・友誼団体の皆様から総勢112名の参加を頂き盛大に開催しました。

本申込ではありませんので、お気軽にご利用ください。

簡単にローンの仮申込ができます。



対象商品 ●不動産担保住宅ローン ●無担保住宅ローン(リフォームローン) ●マイカーローン ●教育ローン ●フリーローン ●カードローン(マイプラン)

新潟ろうきん
TEL 0120 (191) 880 (受付時間 9:00~17:00)

第2回

パネルサポートセンター長会議

会議の主な議題は、(1)当面するPSの課題として、①就業時間の変更、②センター長の任務、③超過勤務縮減に向けた対応、④有給休暇の取扱い、(2)中央労福協主催の2019年度第1回生活・就労支援連絡会議の報告、(3)「第6回生活困窮者自立支援全国研究集会in宮城」の参加体制の確認、4各PSの課題報告、が行われ、県内4センターの抱える課題や問題が共有され、今後の対応について意見交換が行われました。

最後に、次回センター長会議を、9月18日(水)勤労福祉会館で開催することとし、11月15日(金)には、第2回PS職員研修会を長岡市内で開催することを確認しました。



第32回チャリティーゴルフ大会

フードバンクにいがたに寄付!!

5月10日(金)、県労福協主催による第32回チャリティーゴルフ大会が「フォレストカントリー倶楽部」で開催されました。

大会当日は、五月晴れで清々しい天候となり、日ごろ行いの良い82名が参加し、実力をいかんなく発揮する方、練習不足で大たたきをする方など、それぞれにプレーを楽しみながら交流を深め合うことができました。

参加者の厚意により集まったチャリティ金140,000円は、「フード

<大会の上位入賞者>

東コース優勝者	山崎 豊作 (交通労連)
西コース優勝者	丸山 敏明 (運輸労連)
準優勝	宮崎 靖 (国公総連)
東ベストグロス	山崎 豊作 (交通労連)
西ベストグロス	山田 寿 (自治労)

バンクにいがた」に、6月19日の労福協総会の後、牧野理事長から全額「フードバンクにいがた」高見理事長に寄贈しました。

参加者の皆様のご協力にあためて感謝申し上げます。



中央労福協

第1回生活・就労支援調整会議

4月24日(水)東京都明治大学紫紺館において、第1回生活・就労支援調整会議が開催されました。

参加者は、生活困窮者自立支援事業を行っている7県(沖縄・新潟・山形・千葉・山口・徳島・愛媛)その他に労協連、地域的な活動を展開している北海道・静岡県、連合中央などからも参加して総勢27名で開催しました。

なお、新潟県からは、間専務と蛸原新潟市PSCセンター長が参加しました。

会議は、最初に、「休眠預金制度の

資金配分について」連合総合企画局丸田企画局次長から、「休眠預金活用する新しい制度が始まったこと。資金分配団体の公募が開始されたなどの説明が行われました。」労福協として、今後、資金配分団体に応募するのかなど、制度内容の検討を進めることとしています。

次に、各団体からの取り組み報告が行われました。報告内容は、各県から2018年度の取り組み実績と課題、2019年度事業の受託状況等について説明がありました。共通している課題は、①職員の処遇問題(賃金等)②単年度契約による弊害、③事業を展開する中での制度的な矛盾など、ほとんどの課題が共通する問題点として全体で共有しました。

また、新たな現象として、ブラック企業的な組織が生活困窮者自立支援事業の入札に参加して落札している実態がある、との報告がありました。





6月8日(土)、中央労福協主催の、2019年度全国研究集会が熊本地震から3年経過したもの、また、復興途上の熊本市において全国から過去最高の382名(新潟県6名)が参加し開催されました。

「支え合い・助け合いで、誰ひとり取り残さない福祉社会を!」～労働者福祉運動で共助の輪を地域へ広げよう」をテーマに開催されました。

研究集会の特別講演では、特定非営利活動法人抱撲理事長・奥田知志氏から、「『共生社会とは何か』いのちの普遍的価値と家族機能の社会化について」と題しての講演がありました。

特に直近の出来事として、川崎市の小学生殺傷事件、元事務次官の長男刺殺事件について、「ひきこもり」が引き起こした事件のように、マスコミは報道をしているが、事件の背景としては、常態化した「自己責任論社会、自

2019年度 全国研究集会

「支え合い・助け合いで、誰ひとり取り残さない福祉社会を!」 ～労働者福祉運動で共助の輪を地域へ広げよう～

己責任・身分の責任の強調」助けてと言えない・言わせない社会となり、「迷惑は悪」の社会が創り出されている。共生とは、いのちの普遍的価値に絶対的に立ち続けることであると自らを取り組んでいる実態を交え熱く語られました。

基調講演では、中央大学法学部教授・宮本太郎氏から、「2040年に向かう地域と生活保障」～中央労福協70周年に寄せて」と題しての講演がありました。宮本氏は、「2040年に向かう日本は、3つの不均衡が極大化する①世代間の不均衡、②地域間の不均衡、③税収と支出の不均衡を指摘して、福祉の転換と協同組合、みんなが元気になる地域社会と協同組合の重要性を論理的に説明されました。

報告では、中央労福協事務局長・花井圭子氏から、「労福協の理念と2020年ビジョンの検証・見直しについて」、現在の討議状況や11月の第64回定期大会で決定する討議素材の説明が行われました。

パネルディスカッションでは、連合、労金協会、こくみん共済coop、日本生協連、ワーカーズコープの役員の方から、「労福協に期待するものなど」熱く語っていただき会場の質問なども交えて意義深い集会となりました。なお、来年度は、中部ブロック(京都府)で開催する方針を確認し終了しました。

誰もが安心して、ムリなく続けられる保障を。

新しく
なった

こくみん共済

個人定期生命共済・子ども定期生命共済・終身定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・資産生命共済・個人定期生命共済



こくみん共済 coop 公式キャラクター ビットくん(左)とビットくんファミリー

ムリのない掛金で、頼れる保障。あなたや、家族にとって必要な保障をお選びください。

こども 保障タイプ

月々の掛金 **1,200円**

▶ 加入できる方 **0歳～満17歳**の健康な方

ポイント

① **お子さまの総合保障。**

入院時諸費用サポート共済金と合わせて入院保障は日額1万円。

② **ご加入者さまが利用いただける
相談サービスをご用意。**

子育ての悩みから学習の相談まで幅広くサポートする「こども相談室」を無料で提供。

③ **新規加入年齢は0歳から満17歳まで。**

乳児から高校生まで、お子さまに生じるさまざまなリスクに備えられます。



医療 保障タイプ

20 月々の掛金 **2,300円**

▶ 加入できる方 **満18歳～満64歳**の健康な方

ポイント

① **入院や手術、先進医療まで幅広くカバー。**

万の際、治療に専念できるよう、医療に手厚い保障です。

② **ニーズに応じて保障の手厚さを選べます。**

医療保障タイプには掛金が手厚な医療保障タイプ1口もご用意しています(保障内容は異なります)。

そのほかにも、備えたいリスクに合わせて、ラインアップから充実の保障を選べます。詳しくはリーフレットをご覧ください。

こくみん共済 NEWS

「こくみん共済 coop」は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご確認ください。

全労済から「こくみん共済 coop」へ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

新潟推進本部 (新潟県総合生活協同組合)

東部ブロック

第13期福祉リーダー塾

6月20日(木)～22日(土)にかけ、労福協運動の新たな創造をめざし、東部ブロック労福協第13期福祉リーダー塾が静岡県三島市で開催されました。新潟県労福協からは、桑原典子氏(連合新潟)、伊藤聡氏(こくみん共済coop)、間英輔専務(労福協)の3が参加しました。

第1講座【映画】「Workers被災地につづ」解説 中野理氏(JCA協同組合研究員)

第2講座 「ビジネスユニオニズムからソーシャルユニオニズムへ」講師 山本幸司氏(中央労福協講師団・講師)

第3講座 「連帯社会の担い手としての労働者自主福祉へ」講師 高木郁朗氏(日本女子大学・名誉教授)

第4講座 「中央労働金庫の理念と将来像」講師 松迫卓男氏(中央労金・理事長)

第5講座 「全労済の理念と将来像」講師 廣田成巳氏(全労済関東統括本部長)

第6講座 「生協の社会的取り組み」講師 伊藤治郎氏(日本生協連渉外広報本部長)

第7講座 「地域で活躍するNPOや団体の活動」講師 麻生裕子氏(連合総研・主任研究員)

第8講座 「労働運動・労働者自主福祉運動の理念と歴史」講師 高橋均氏(中央労福協講師団・講師)

8つの講座を受講し、グループミーティングでは、映画と講義をふまえ小論文について考え、論議を深めました。



第90回新潟県中央メーデー 底上げ、底支え！長時間労働の撲滅！

4月27日(土) 連合新潟主催の第90回県中央メーデーが、新潟市陸上競技場において肌寒く小雨・強風の悪天候の中、約3,500名が参加し開催されました。

牧野会長は挨拶の中で、今年のテーマである長時間労働の撲滅に関連して「全ての労働者の立場に立った働き方の実現、長時間労働の是正、同一労働同一賃金へ向けた取り組みの強化が必須」と強調。「誰もが安心して働き、

暮らせる当たり前の社会の構築」と呼び掛けました。

式典前には2つのルートで新潟市中心部をデモ行進し、参加者は「労働者の使い捨ては許さないぞ」「長時間労働を撲滅するぞ」「雇用の確保と安定、公正なワークルールを実現するぞ」など書かれた横断幕やプラカードを掲げ、シュプレヒコールを上げました。



新ブランド「こくみん共済coop」 記念レセプション

「こくみん共済coop」新潟 推進部のゆるぎない飛躍を確認

6月4日(火) 新潟第一ホテルにおいて、「こくみん共済coop」記念レセプションが61名の出席で盛大に開催されました。

開会のあいさつで、小野塚本部長より「6月1日より全労済は「こくみん共済coop」を新たな愛称に定め、歴史的な事業年度を迎えることとなりました。新たな気持ちで事業と運動に更に邁進する決意と「全国統一キャンペーン」の目標達成に向けて決起するレセプションとしたいとの挨拶がなされました。

レセプションでは、出席者全員で「こくみん共済coop」のゆるぎない飛躍を確認しました。



新潟県労働金庫 第67回通常総会



6月25日(火) ANAクラウンプラザホテル新潟にて、新潟県労働金庫第67回通常総会が開催されました。

総会では、齋藤敏明理事長の挨拶で、2018年度を振り返り概ね計画通りに事業が実施されたこと、笑顔をつなげる運動の、「ピンクリボン運動」や「交通遺児支援」の取り組み、すべての働く人に良質な金融サービスを提供して、その暮らしを生涯にわたって安定させ快適なものにするための取り組みを強化したい。また、新潟県労働金庫が、2016年に中学生向けに作成した『DVD「考えてみようSNSやスマホとの付き合い方」』が、「消費者教育教材資料表彰2019」理事長賞を受賞したとの報告がされました。その後、来賓挨拶、13会員への表彰がありました。

議案審議では、第67期業務報告、

2019年度事業計画の設定の件、役員選任の件など、決議事項が全て承認されました。

NPO法人フードバンクにいがた 第2回フードバンクにいがた総会

6月25日(火)「NPO法人フードバンクにいがた」第2回総会が勤労福祉会館で、33名が参加し開催されました。総会では、2019年度の活動方針が承認され、食品受取量を、年間35トンの目標を立て(前年実績30トン)今まで以上の取り組みが求められていると全員で確認しました。

今年は、総会のみで開催として後日講演会などを計画する予定です。

役員改選では、理事長・高見優、副理事長・間英輔、斎藤弘明、理事・山田太郎、齋藤信夫、白倉京子、細野博康、監事・横山英二が信任され、事務局長には小林淳(県央センター長)が、理事長指名により選出されました。



2019秋 新潟会場

一般申込みは、
9月1日から受付開始!

ワークルールとは、働くときに必要な法律や決まりのことです。いま、職場でワークルールが守られない場面が多くなっています。グローバル化による企業間競争の激化や労働法の規制緩和、働き方の多様化などが進行しているにもかかわらず、労働者にも使用者にもワークルールの知識が乏しいためです。

知識が欠如している原因としては、ワークルールを知る機会が少ないことがあげられます。高校や大学で適切な教育がなされず、また、職場でもワークルールについて話し合ったり、ルールの適用について相談する機会もあまりないのが現状です。

このような状況のなかで、ワークルールを知りたいというニーズは確実に広がっています。リストラや労働条件の引き下げから自分や仲間を守るために、ワークルールの基礎知識はとても役に立ちます。また、企業にとっても、コンプライアンスを守り、働きやすい職場環境をつくるためにはワークルールの知識は欠かせません。

それら知識の獲得を応援・支援するのが、この『ワークルール検定』です。

日 時	2019年 11月 23日(祝・土) 初級 9:45~11:45(ワークルール講習を含む)
会 場	第五マルカビル 7階・駅前オフィス (新潟市中央区東大通1-1-1) ※次の都道府県内でも同時に実施されます。 北海道、岩手、福島、栃木、千葉、東京、山梨、岐阜、富山、滋賀、奈良、和歌山、 広島、山口、高知、佐賀、大分、鹿児島、沖縄
主 催	一般社団法人日本ワークルール検定協会 (構成団体:NPO法人職場の権利教育ネットワーク、連合、中央労福協、教育文化協会、日本労働文化財団、 NPO法人働く文化ネット、旬報社)
募集期間	9月1日~10月27日 ※連合新潟加盟組織は組織内受付あり
申込方法	公式ウェブサイトより(http://workrule-kentei.jp/) ※連合新潟組織内の受付はメール・FAXを予定
受検料	検定・講習費 2,900円(税込)



なお、今回の総会・講演会および交流会では、西村ちなみ衆議院議員、新

潟県日韓親善協会 2019年度定期総会
その後、韓国総領事館の鄭美愛総領事から「韓日関係のあすを考える」と題して講演会を開催しました。総領事からは日韓関係の発展に向けて「双方が、相手国に対する関心、理解を深めるための努力を続けることが大切だ」との講演がありました。

5月31日(金) 万代シルバーホテルにおいて、2019年新潟県日韓親善協会の定期総会が開催され、過去最高の87名が参加しました。
2018年度事業・決算報告、2019年度事業計画・予算などを満場一致で承認し、役員改選では、片桐奈保美会長を含め多くの役員が留任し、新たな役員体制について承認されました。

2019年度日韓親善協会総会・記念講演・交流会 韓日関係のあすを考える 駐新潟総領事館が記念講演

潟市荒井副市長、日韓親善協会中央会石井理事長、森ゆうこ参議院議員から激励の挨拶を頂きました。

新たな会員の皆様が多数参加し、有意義な交流会となりました。

【保証引受の実績】

(2019年5月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高
無担保ローン	44,993件 69,441,826,275円
有担保ローン	10,861件 130,756,279,889円
合 計	55,854件 200,198,106,164円

労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる

**勤労者のための
信用保証機関です。**

一般財団法人 **新潟県労働者信用基金協会**

〒951-8113

新潟市中央区寄居町332番地18

**香港
マカオ
上海**

人気の
3大スポットを
巡る

旅行企画・実施 新潟交通株式会社
新潟県労福協企画
「友好の旅」

旅行出発日

2019年

11月9日(土)

旅行代金

149,800円

大人お1人様(2名1室利用時)

日次	都市名	時間	旅行内容・食事・宿泊地
1	新潟空港 上海/浦東空港 香港	午後 夕刻 夜	新潟空港より中国東方航空にて空路、上海へ 上海より空路、香港へ 宿泊ホテルへ 〈香港泊〉 [機][機]
2	香港	終日	ビクトリアピークからの 夜景鑑賞他、終日香港市内観光 〈香港泊〉 [朝][昼][夕]
3	香港 マカオ	午前 午後	香港市内観光 高速船にてマカオへ マカオ市内観光 〈マカオ泊〉 [朝][昼][夕]
4	マカオ 香港	午前 午後 夕刻	マカオ市内観光 マカオより空路、上海へ 上海 夜景鑑賞 〈上海泊〉 [朝][機][夕]
5	上海 新潟空港	午前 午後	上海より中国東方航空にて空路、新潟へ 新潟空港到着後、解散。お疲れさまでした [朝][機][夕]

●食事条件:朝食4回、昼食2回、夕食3回(機内食を除く) ●最少催行人員:25名 ●添乗員:新潟空港より同行します
●利用航空会社:中国東方航空 上海航空(エコノミークラス利用) ●香港:ハーバープラザ8デグリーズ 又は同等
スーパーリアクラス、マカオ:ホテル 又は同等スーパーリアクラス、上海:ザ・ロンドン 上海 又は同等デラックス
クラス(2名1室利用) ※1人部屋追加代金39,000円(4泊分) ※燃油サーチャージ8,900円、現地空港税6,800円
(2019年4月15日現在)が別途必要です

専用パンフレットをご用意しております

お申込み・お問合せ
生活協同組合
コープクルコ

コープ・トラベルセンター

http://www.cooptravel.jp/

コープ・トラベルセンター

新潟県知事登録旅行業第2-321号
全国旅行業協会正会員
株式会社 コープサービス
総合旅行業務取扱管理者 高橋 孝

新潟営業所

〒950-0086 新潟市中央区花園2-1-6

株式会社 コープサービス

☎025-245-4110

長岡営業所

〒940-2216 長岡市南七丁目5-7

☎0258-86-7537



香港/100万ドルの夜景



上海/浦東地区の高層ビル群



マカオ/セナド広場



マカオ/聖ポール天主堂跡



上海/外灘の夜景

地区労福協からの たより



新潟地区

新潟地区労福協として社会的な課題に対し、生活困窮者自立支援対策・中小企業勤労者の福祉格差の是正等について、2月8日に新潟市政に対し、勤労者福祉の向上に向けた8項目について要請しました。

新潟地区労福協とにいがたライフサポートセンターボラの会の取り組みによる今年のサツマイモの苗植えが5月18日、江南区大洲地内の畑で実施されました。9月の収穫に向け、定期的な草取り・水まき等を行い収穫に備えます。収穫には多くの手が必要となりますので、昨年同様、各労組などへ案内をさせていただきませんが、今年も多く参加をお願いします。

食料支援の一環でもある、にいがたお米プロジェクトは取り組み開始から1年が経ちます。この間、多数のボランティアの方達や食料を提供してくださる方たちの支えがあり、順調に活動基盤が出来てきています。今後は、東区だけでなく、中央区での取り組み拡大に向け、関係各所との協議が必要となります。

新潟地区労福協は7月12日に、第29回定期総会を開催し、次年度に向けた活動方針と役員が決定されます。



長岡地区労福協

長岡地区労働者福祉協議会（以下、地区労福協）の総会が、6月21日（金）午後1時30分からまちなかキャンパス長岡で開催された。

矢島会長は総会開催にあたり「これからの社会は労働力人口が減少し、AI・IOTなど人の手のかからない世の中と見ていかないといけない。地区労福協として、クオリティーの高い事業を継続していきたい」等の挨拶を述べた。

早速、18年度事業報告として、①

2018長岡ワーク&ライフセミナー事業（11月3日）は、3会場5団体のセッション合計138名、交流会89名が参加。②LSC事業は、年間相談件数436件。見附地域から10件。心と身体を守るセルフケアには、毎回6〜7人（最多11人）参加と報告された。また、2人のボランティアがチラシを年間4万9千枚配布していること等が報告された。続いて、19年度事業として、ワーク&ライフセミナーの2月開催とLSC事業の継続、向後2年間の役員体制を決定した。

また、終了後には、長岡市や各団体から課題や事業活動が報告され、有意義な意見交換がなされた。



柏崎地区労福協

柏崎地区労福協は、働く人たちの地域住民の生活問題や労働問題等の

解決の糸口を一緒になって見つけ出す「困りごと無料相談」、ライフサポートセンター事業を活動の柱としています。

昨年度の相談内容は、就職相談37.3%、労働問題18%、こころの問題14%、人間関係9.3%、家庭問題7.3%、その他8.7%でした。

一つの相談に複数の要因が絡まっております、面談を重ねて対応している件数が大多数です。

ここ近年では、シンポジウムやセミナーなどを、行政をはじめとした各団体と共同で開催したことにより各種相談窓口と横の繋がりが生まれ、他の相談窓口から労働・就職問題の件で柏崎LSCを紹介されるようになってきています。

柏崎LSCで特徴的なのは、「また話を聞いてもらいたい」「また相談したいことがある」とやってくるリピーターが多い点です。

家庭や職場での不安や不満・再就職の相談などを聴き、時には他の相談窓口と連携しながら対応しています。



調査・研究事業 報告

連載／第2回

深刻化するメンタルヘルスへの対応 ―「人生100歳時代」と 働き方を考えるために―

公益社団法人新潟県自治研究センター

2019年3月に発刊した、調査・研究報告書『あしたへ―健康と医療のセーフティ・ネット―』について、今号からは、各執筆者のテーマ別論文の概要をまとめていきたい。

今回取り上げるのは「働く者にとって迎える時代の考察―人生100歳時代に働く―の視点から―」（梶口敏行・新潟県自治研究センター常務理事・研究主幹）である。

同論文は、1. 労働災害の推移と今後、2. 「人生100歳時代に働く」とは、3. 日本経済と労働の課題、4. 労働災害とは、5. 増加するハラスメントとその対策、6. 日本の労働現場での共通課題、7. 近未来の働き方（IT/AI/ロボット時代）の全7章で構成されている。多角的で内容も豊富であるが、データ資料も用いて比較的平易に書かれており、関心のある分野から読み始められるものになっている。いずれの視点も「労働者と健康（こころとからだの健康）・医療」に

とって欠かすことはできないが、今回は「人生100歳時代に働く」を中心に、内容の一端を紹介したい。

【人口構造と長寿社会】

近年最大の課題として「人口減対策」がいわれつづけている。

総務省統計「日本の人口現状」（2018年4月1日確定値）をみると、特に生産年齢人口（15～64歳人口）が前年比55万5000人も減少している。梶口氏はこれとあわせて、新潟県の小千谷市を例に、全国に比べてより深刻な人口現状と将来予測（約20年後には、人口3割減、高齢化率40%超え、生産年齢人口約4割減）があることを述べ、長寿社会が「必至の現実である」ことをあらためて認識させる。そのうえで、「少子化、人口減少、労働力の激減の時代の中で、将来の長寿社会」をどう生きるのか。梶口氏は「長寿は決して『悪』ではなく、その準備がなされていないことが『悪』な

のである」と論じ、人口の増減に影響を与える医療・福祉的、地域的そして経済的な要因や、長寿時代の課題である「平均寿命」と「健康寿命」の差（男性で約10年、女性で約12年）にも触れて、十分な取り組みがされているのかと強い疑問を呈している。

【働き続けられる社会なのか】

『ライフ・シフト』の著者リンダ・グラットン氏は、2007年生まれの人々が107歳まで生きる確率は50%との試算を明らかにしている。長寿社会の主たる支え手である生産年齢人口が減少するなかで、「働く環境」が問われるのは当然のことである。

ところが、政府が示す、「労働市場力と年金財政がもたない」という現実から出発した「1億層活躍社会・女性活躍社会の実現」という「働き方（働かせ方）改革」は、①定年延長（高齢者雇用）、②女性就労率の向上、③年金受給年齢の引き上げであり、働けるものは、すべて働いてもらう（女性には出産も）という政策なのである。

では、働く人々はどういう「現実」にあるのか。

梶口氏は、その一例として、当センターが以前実施した、看護職場で働く方のアンケート調査を紹介する。「いっただけ働ける（働きたい）と考えているか」や「有給休暇」等について問うたものであるが、その結果は厳し

いものであった。「単に人口問題や労働者不足の理由では、労働者は働くことはできない」、「労働災害対策とは、仕事上にとどまらず、生きていくこと全体にかかわる対策である」との指摘は重い。さらに、本調査・研究で昨年度実施したアンケート結果から、ハラスメント・有給休暇・時間外労働等の取り組みについて課題が多いことも示しながら、今後の議論が急務となっているAI/ロボット時代も視野に入れ、労使共通の課題である労働安全衛生の重要性と、そのための対等な関係での双方の真摯な努力を求めている。

参院選を前にして、無職の高齢者夫婦が95歳まで生きるには2000万円の蓄えが必要だとする、金融庁金融審議会の報告書が問題となった。大臣の受け取り拒否など「火消し」を優先して、政治争点化を避けるのに必死な様子である。しかし、「人生100歳時代」にどのようにくらしを支える制度をつくるかという議論は、国民的な議論のなかでこそなされなければならないはずである。年金などの社会保障とともに、こころとからだの健康が守られるような働く環境の整備は、「100歳時代」を支える重要な柱である。与野党の姿勢をどうみるか、梶口氏の論稿はそれを考える一助にもなる。

（文責・新潟県自治研究センター

齋藤 喜和）

2019 にいがた ワーク&ライフフォーラム in新潟

連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて

人間らしく生き、働き、暮らすことのできる社会にむけて、労働者福祉運動は「労働を中心とした福祉型社会」の実現をめざしています。このフォーラム開催は、労働者福祉運動に携わる諸団体をはじめ、地域課題に取り組むNPOや市民活動団体、自治体との連携を図り、相互に補完しあい、より大きな相乗効果を発揮できる可能性を追求していきます。多くの方々がご参加くださいますようお願いいたします。

共に働き、共に生きる ～新しい時代に伝えたい言葉～

記念講演

菊池桃子氏

日時 2019年 **9月28日(土)**
10:00～ 受付開始 9:30～

会場 **新潟東映ホテル**

午前の部 10:00～12:10

新潟東映ホテル 白鳥の間
記念講演/菊池桃子氏

(昼食 移動)

午後の部 13:30～16:40

新潟東映ホテル内または開催団体现地等
セッション/県内・市内で活躍する11団体

交流会 17:30～(受付開始17:00～)

新潟東映ホテル 参加費1人 3,000円

※交流会のみの参加はできません。※交流会は別にお申込みください。



PROFILE

女優・戸板女子短期大学客員教授。1984年芸能界デビュー。幅広い芸能活動と一男一女の母として子育てを両立する傍ら、2012年3月法政大学大学院政策創造専攻修士課程修了。その後、母校である戸板女子短期大学の客員教授としてキャリア教育の講義を担当している。研究分野は「雇用政策を踏まえた人々のキャリア形成」著書「午後には陽のあたる場所」(扶桑社)がある。



- 主催/2019にいがたワーク&ライフフォーラムin新潟実行委員会
- 共催/新潟県労働者福祉協議会、新潟地区労働者福祉協議会、新潟県労働金庫、こくみん共済coop新潟推進本部、(一財)新潟ろうきん福祉財団
- 後援/新潟県、新潟市、認定NPO法人新潟NPO協会

※この事業は、一般財団法人 新潟ろうきん福祉財団の公益支出事業を主たる財源として開催します。

要申込

(定員400名) ◎申込期限 **8月16日(金)**
お申込みは、別途申込書にてお願いします。

参加無料

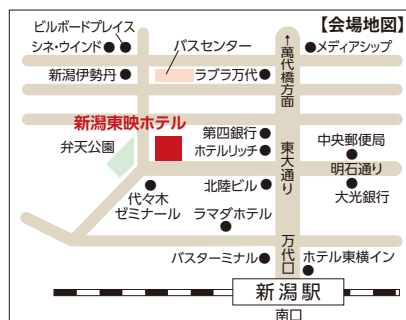
(交流会除く) ※宿泊が必要な方は、各自・各団体で手配ください。
※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
※お車の場合、駐車場は自己負担となります。
※先着順、定員になり次第、締切りとさせていただきます。

新潟東映ホテル会場
**フードライブ
開催します**

ご寄付いただきたい食品

- ①未開封品
 - ②常温保管が可能
 - ③賞味期限が2ヶ月以上残っている
- ※アルコール類、なま物類、衣類等はご遠慮ください。

フードバンクにいがた



今後の日程

7月

2日(火)
第29回協同組合間連携集会 (新潟市：朱鷺メッセ)
2日(火)～3日(水)
2019年度事業団体・地方労福協会議 (東京都)
3日(水)
フードバンク活動に関する情報交換会 (東京都)
3日(水)
阿賀町支援調整会議 (阿賀町)
5日(金)～6日(土)
第7期 にいがた福祉リーダー塾
(新潟市：万代シルバーホテル)

11日(木)
中央労福協公益法人情報交換会(東京都)

17日(水)
第6回長岡市PS支援調整会議(長岡市)

19日(金)
地方労福協事務担当者会議(神奈川県横浜市)

22日(月)
上越市PS事業連絡会議(上越市)

23日(火)
上越市PS支援調整会議(上越市)

24日(水)
新潟県2019年度日口親善協会総会
(新潟市: 万代シルバーホテル)

25日(木)
新潟市PS支援調整会議（新潟市）

25日(木)～26日(金)
東部ブロック幹事会・事業団体責任者会議（静岡県）

30日(火)
講演会および韓日親善交流会
（新潟市：東映ホテル新潟）

31日(水)
新潟総合生協総代会、こくみん共済Coop新潟推進本部代表者会議（新潟市）

31日(水)
第7回長岡市PS支援調整会議（長岡市）

8月

20日（火）
第3回奨学金問題に係る意見交換会
(新潟市：勤労福祉会館)

23日（金）
第125回県労福協理事会 (新潟市：勤労福祉会館)

30日（金）
第2回県労福協事業検討委員会
(新潟市：勤労福祉会館)

編集後記

◆ 第40回定時総会が開催され、2019年度の事業計画等すべての報告事項提案に対して承認および確認を頂いた◆今回の事業計画の目玉は、「県労福協事業検討委員会」の設置である。委員会は、来年の総会に向けて、県労福協全ての事業の大胆の見直しにより、県労福協の将来目指すべき方向と姿を示すこととなった【答申を受け最終の決定は理事会である】◆少し古い話だが、過去にあった「事業仕分

け」のような概念であり、まさにゼロ査定からのスタートである。❖労福協の定款には、第3条（目的）「当法人は新潟県内において勤労者福祉を増進するための事業を行い、勤労者の生活安定と経済的・社会的地位の向上に寄与することを目的とする」と記している。❖「2030ビジョン策定」を中央が進めている。その方向をふまえ県労福協も作成する。❖県労福協の運動と地区労福協の活動がリンクして、地域に認知された活動と組織になれば、勤労者の生活安定に寄与することは間違いな

◆ 議論を重ね新たな方向性を示すこと
としたい。

(新光町のカンペイ)

【訂正】
にいがた労福協第37号
(2019年4月15日)
において、誤記載がありましたのでお詫びし
て訂正します。

8ページ【編集後記】 2段落目の12行目後段
13行目、
(誤：受託してはや6年経過し、7年目を迎える。
正：受託してはや7年経過し、8年目を迎える。





クルコ

生協の宅配

毎日食べるものだから新潟県産・国産にこだわります。
生産者の顔がみえる安全・安心の宅配サービス！

新規ご加入キャンペーン

お財布にも身体にもやさしく美味しいおトクな新キャンペーンスタート！



調理例



調理例



調理例



調理例



盛り付け例



盛り付け例



盛り付け例



盛り付け例

co-op コープデラ

コープフルコ

クルココールセンター / 9:00~19:00 月~金曜

☎ 0120-222-559



食卓を笑顔に、地域を豊かに。

コープフルコ

資料請求応募フォームは
コチラからアクセス！



新潟ろうきん夢咲Clubとは？

〈ろうきん〉に加入していない事業所にお勤めの方が、
 〈ろうきん〉を利用する際にご加入いただくメンバーズクラブです。

ご入会

新潟ろうきんの県内26店舗で入会手続きができます。加入申込書は新潟ろうきんの全店舗に備えてあります。

※入会金や会費は必要ありません。

ご加入いただける方

新潟ろうきんとお取引がある、あるいはお取引を予定されている方で、以下のいずれかの加入条件を満たす15歳以上の方となります。

- 1) 新潟県内に居住または勤務する勤労者の方
- 2) 将来、新潟県内に居住または勤務する予定のある方

ご入会は最寄りのろうきん支店窓口へ、お問い合わせは新潟ろうきん夢咲Club本部事務局まで。

新潟ろうきん夢咲Club本部事務局

〒951-8512 新潟市中央区東新井3-22番地505 新潟市労働会館505号室
 TEL:025-251-4875 FAX:025-251-4875

<http://www.roukin.jp/> <http://www.roukin.jp/club/> 